

第1次脳卒中と循環器病克服5カ年計画 ストップCVD(脳心血管病) 健康長寿を達成するために！

日本脳卒中学会 日本循環器学会

日本胸部外科学会 日本血管外科学会 日本高血圧学会 日本小児循環器病学会
日本心エコー図学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本心臓血管外科学会
日本心臓病学会 日本心臓リハビリテーション学会 日本心不全学会
日本成人先天性心疾患学会 日本動脈硬化学会 日本糖尿病学会
日本脳神経血管内治療学会 日本脳神経外科学会 日本脳卒中の外科学会
日本不整脈心電学会 日本脈管学会 日本リハビリテーション医学会

ストップCVD（脳心血管病）

健康長寿を達成するために

大目標

1. 脳卒中と循環器病の年齢調整死亡率を5年で5%減少させる

2. 健康寿命を延伸させる

5戦略

人材育成

医療体制の充実

登録事業の促進

予防・国民への啓発

臨床・基礎研究の強化

重要3疾患

脳卒中・心不全・血管病※

● 社会的背景

超高齢化の進行
平均寿命と健康寿命の乖離
医療費の増加（脳卒中と循環器病で20%）
後期高齢者の死因第1位は脳卒中と循環器病
要介護者の原因の25%は脳卒中と循環器病

● 医療体制の課題

急性期患者搬送体制の不備
シームレスな医療環境の不備
発展途上のチーム医療
全国規模疾病登録事業の不備
国民への疾病の周知不足

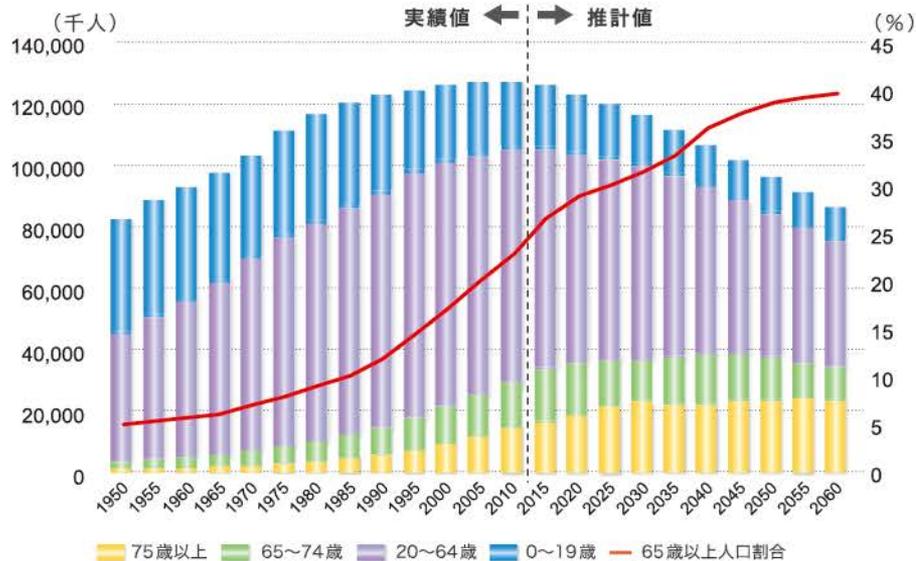
● 疾病に関連する課題

高齢化に伴う疾患の増加
悪い生活習慣
予防法の不徹底
診断の遅れ
原因・革新的療法の欠如

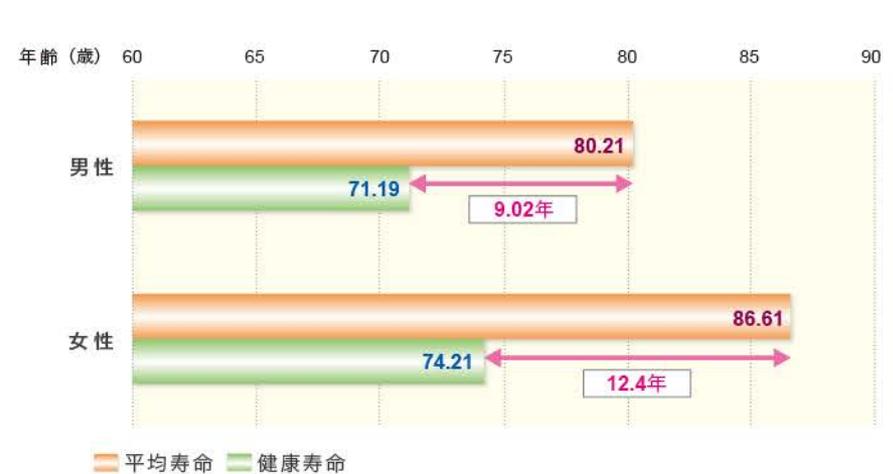
※ 血管病：急性心筋梗塞、急性大動脈解離、大動脈瘤破裂、末梢動脈疾患

5カ年計画の背景 — 増大する後期高齢者のQOL向上 —

高齢化に伴い後期高齢者人口が増大



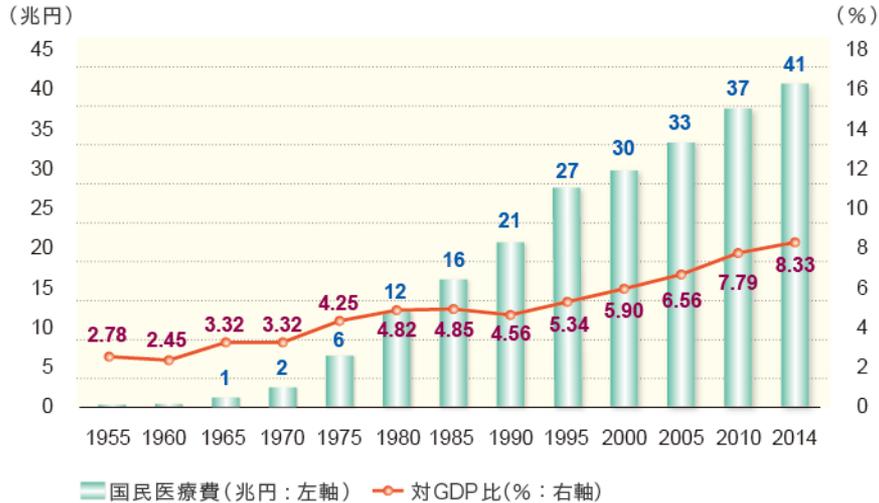
平均寿命と健康寿命の差（平成25年）



（出典） 平均寿命は、厚生労働省簡易生命表(平成22年)
健康寿命は、厚生労働省「健康寿命の指標化に関する研究(健康日本21(第二次)等の健康寿命の検討)
(平成27年度分担研究報告書)

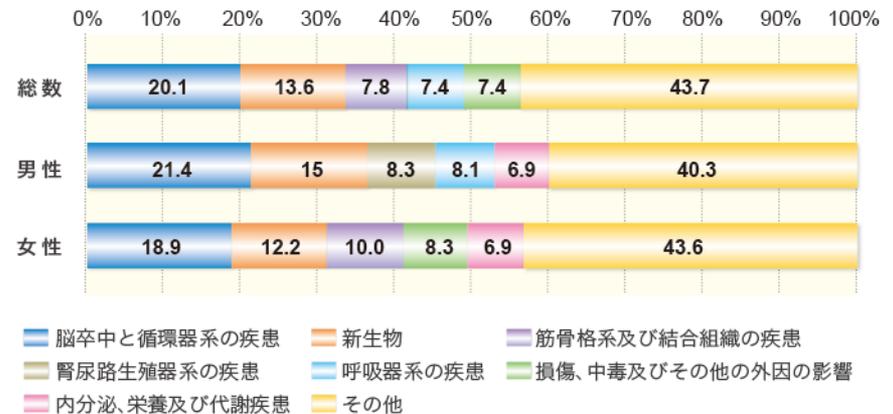
5カ年計画の必要性

高齢化に伴い医療費は増大を続ける



(出典) 厚生労働省「平成26年度国民医療費の概況」

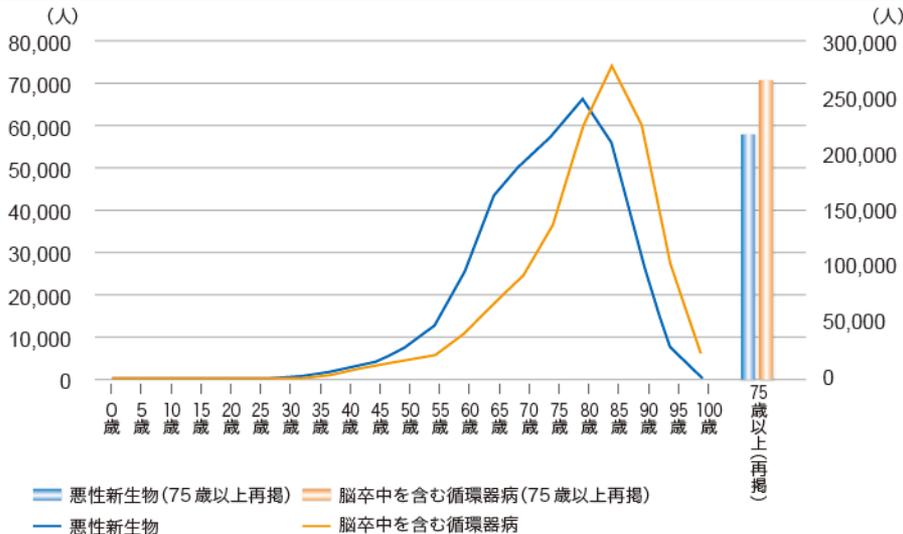
脳卒中と循環器病が医療費の20%を占める



注：1) 傷病分類は、ICD-10(2003年版)に準拠した分類による 2) その他は、それぞれ上位5傷病以外の傷病

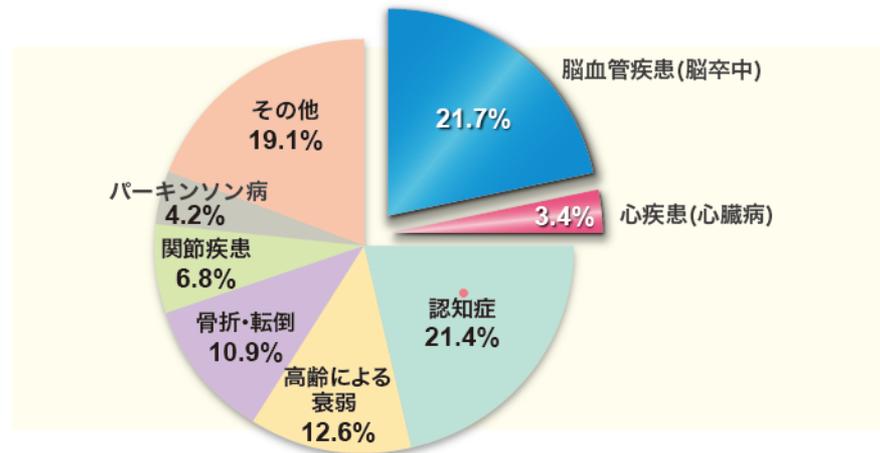
(出典) 厚生労働省「平成26年度国民医療費の概要」

後期高齢者では、脳卒中と循環器病が死因の1位



(出典) 平成27年人口動態調査

要介護になる原因の25%が脳卒中と循環器病

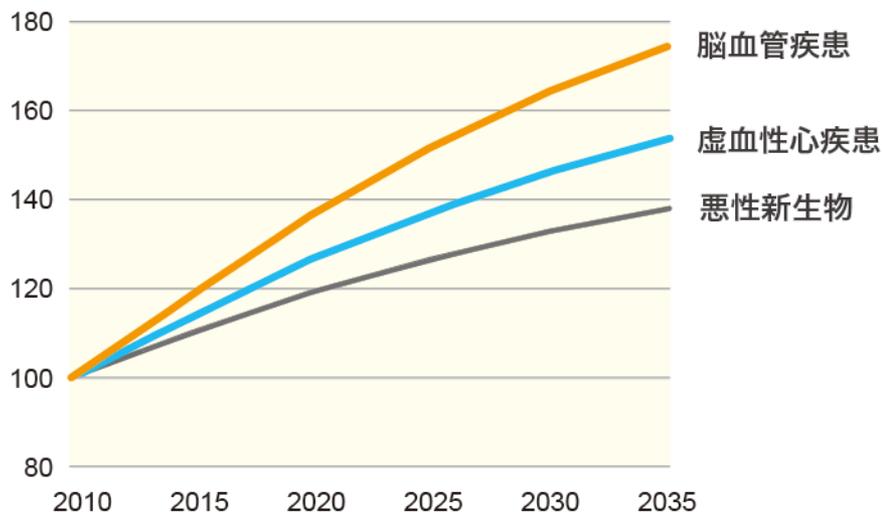


(出典) 厚生労働省「平成25年度国民生活基礎調査の概況」

重要3疾病(脳卒中、心不全、血管病*)に共通する課題

高齢化に伴う入院患者数の増大

疾患別入院患者数の伸び将来推計
(東京都：2010年を100とした場合)



出典：東京医科歯科大学 伏見清秀教授

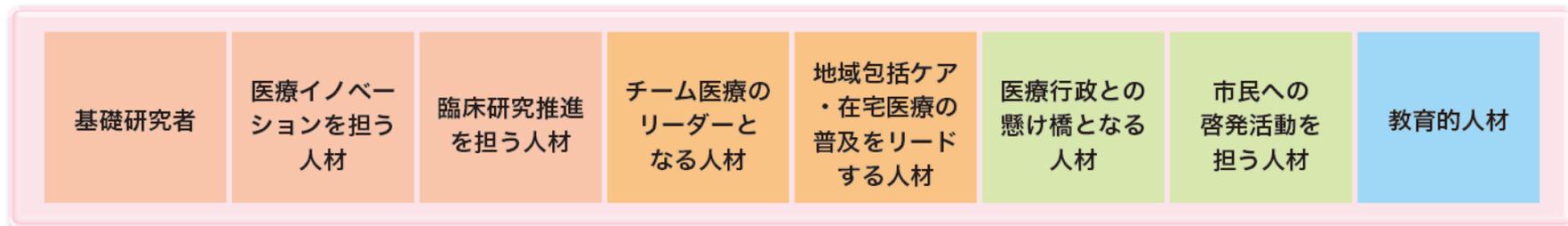
課題

- ◆ 疾病の特性に応じた救急医療を含む急性期の医療提供体制や、急性期から慢性期、介護期へのシームレスなサービスを提供する体制が不十分
- ◆ 疾病に関する基礎知識や、対策の充実の意義が国民に十分に理解されていない
- ◆ 全国規模の登録事業が未整備であり、その結果、発症から死亡に至る患者の実態把握が不十分
- ◆ 病態が未だに明確に解明されていないため、治療は対症療法にとどまっており、原因療法が存在しない
- ◆ 上記の問題を解決するために必要な医師のみならず、多職種の人材が不足していること

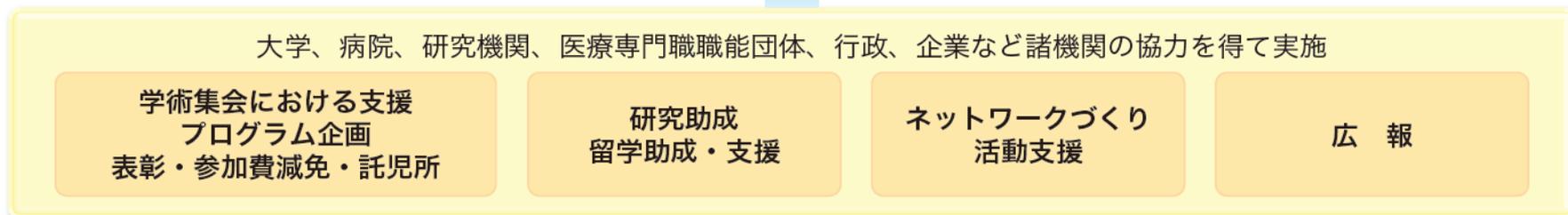
* 血管病：急性心筋梗塞、急性大動脈解離、大動脈瘤破裂、末梢動脈疾患

戦略1：人材育成

育成が求められる人材



学会としての取組み（他の4戦略と連携）



対象



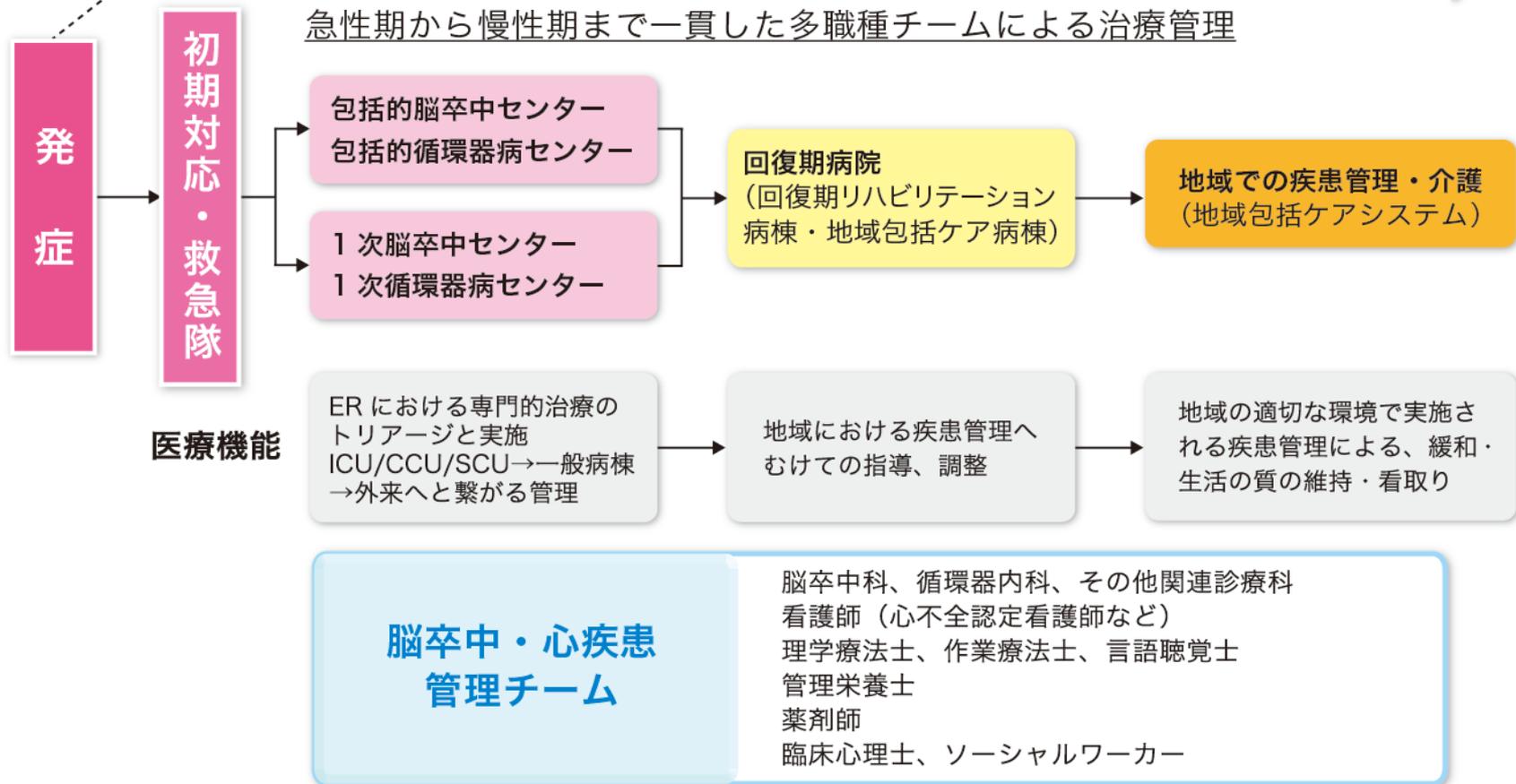
※医療専門職：看護師、慢性心不全看護認定看護師、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師、摂食・嚥下看護認定看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、ソーシャルワーカーなど

戦略2：シームレスな医療・介護体制の整備

慢性重症循環器難病* に対する高度医療体制については、別途整備が必要
(*重症心不全、肺高血圧、先天性心疾患、重症不整脈、血管炎など)

患者の流れ

急性期から慢性期まで一貫した多職種チームによる治療管理



戦略3：登録事業の促進

- ・ JROAD、JROAD-DPCを土台とした包括的循環器病全国登録システムの確立
- ・ J-ASPECT、日本脳卒中データバンクを土台とする包括的脳卒中全国登録システムの確立

目 標

1. 悉皆性の向上

2. データの拡充

3. データ活用の促進

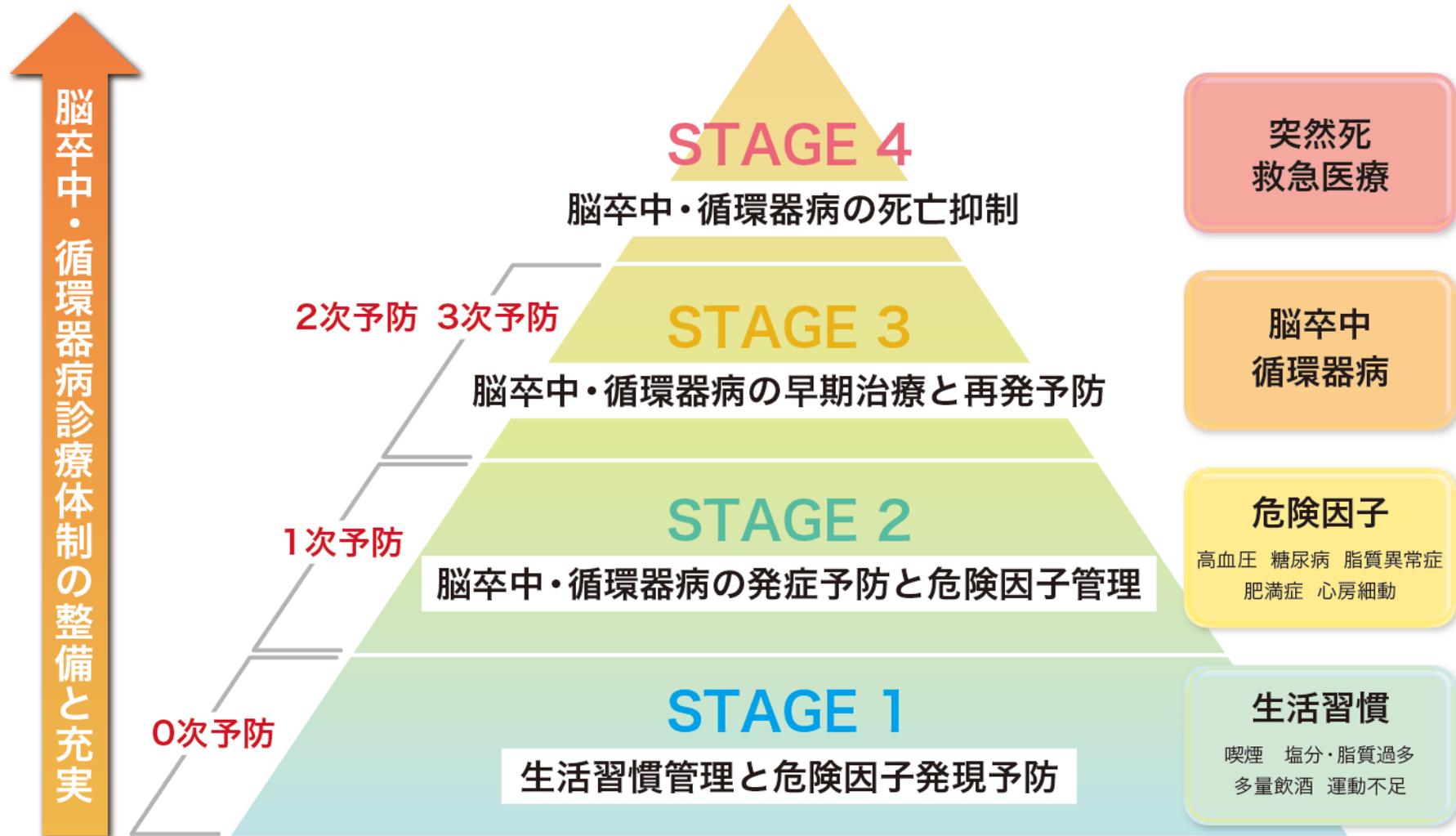
事業内容

- 1 脳卒中と循環器病の診療に対する医療の質評価指標の確立
- 2 重要疾患、我が国独自の疾患の予後追跡調査システムの構築
- 3 診療情報標準化とICTおよびAI技術によるデータ自動収集システムの構築
- 4 医療計画、診療ガイドラインに資する脳卒中と循環器病の統合登録システムの構築
- 5 民間企業を含めた予防治療開発研究への活用基盤の構築

期待される成果

- ① 過剰医療の抑制による医療費の適正化
- ② 医療資源の適正配分に向けたヘルステクノロジーアセスメントの促進
- ③ 臨床試験治験、症例登録、市販後調査などへの活用
- ④ Q I 指標遵守率の向上による医療の質改善および循環器死亡減少の達成
- ⑤ 地域医療計画への情報活用
- ⑥ 高齢者医療の全体像把握
- ⑦ 登録データに基づくシミュレーション将来予測と医療政策評価

戦略4：予防・国民への啓発



戦略5：臨床研究・基礎研究の強化

- 脳卒中・循環器病の制圧
- 健康寿命の延伸
- 医療／医療費の最適化

